

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4年 8月 23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100116		
法人名	社会福祉法人うすい会広島光明学園		
事業所名	グループホーム光明牛田新町		
所在地	広島市東区牛田新町3-20-15 (電話) 082-222-3223		
自己評価作成日	令和4年7月21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100116-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年8月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・新型コロナウイルス感染症の流行により、特色である、隣接する保育園との交流の中止、地域行事への参加中止、ホーム内行事の縮小により、今まで力を入れていた事への取り組みが、行えていません。</p> <p>・ホーム内で行える事への取り組みとして、食レクを定期的に行いました。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者本位の支援を行おうと職員全員で取り組んでいる。</p> <p>身体拘束をしないケアを目指して「身体拘束適正化委員会」を運営推進会議で実施し、出席者と意見交換している。利用者の意見を尊重して、利用者の行動を抑制したり強制せず、職員の意見を優先しない支援に取り組んでいる。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のために、地域との交流ができなくなり外出も制限している。しかし、施設内で利用者と楽しめるように「食レク」として、焼きそば・カップケーキ・かき氷・スイカ割りを行い、利用者と一緒に楽しんでいる。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念ある、三宝一如とグループホームの理念を朝礼で唱和し、職員間で共有している。理念に基づき、日々意識しながらご利用者様と関わらせて頂いていたが、理念の一つである、地域交流について、行事等の参加は控えている為、実施ができていない。	法人理念のもとに事業所「介護理念」があり、朝礼で唱和し共有している。理念の実施状況は、管理者が評価し、職員評価面接時に職員に通達している。総括的な評価は、年1回の職員会議で職員に説明し、事業所の理念を再確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウィルス感染症対策の為、外出等は行っていない。地域の民生委員との情報交換は定期的に行っているが現在ご利用者様と地域の交流はない。	介護理念に「地域の人との交流」を掲げ、地域や保育園の行事に参加していたが新型コロナウイルス感染防止策として実施されていない。運営推進会議の出席者の民生委員とは、管理者が付き合いを継続し、地域状況を教えて頂いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前のように運営推進会議にて、地域の方をお招きし、発信していたが、現在は、照会での対応となっている為、書面の報告しか行えておらず、詳細をしっかりと伝えてきていない。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	推進会議を行う際、事前にご意見を頂き、それについて話し合いを行っている。身体拘束やコロナウィルス感染症の状況についてご意見を頂く事が多い。	運営推進会議は、新型コロナウイルス感染防止策として出席者が意見を提出し返答する形式としている。「利用者家族の面会」では活発な意見交換が行われている。「面会」について法人と協議し、感染状況が改善した際は、ワクチン接種記録提示などの「面会条件」を設定し、ガラス戸越しで面会できるようにしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	サービスの提供において不明瞭な事など市に連絡し、相談を行っている。コロナ関連の事について等も不明瞭な事の確認を随時行っている。	利用者や職員が新型コロナウイルスに感染した際には、対応方法について市に相談し助言を受けた。	

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所として身体拘束を行わない方針のもとケアに努めている。各居室の窓からベランダに自由に入ったり、廊下・ホールや廊下からのベランダへの出入りも自由にして頂いている。施設内研修や身体拘束適正化検討委員会にて事例等を検討し、身体拘束に関する情報を職員で共有している。	事業所玄関はインターホンで対応し開錠しているが、施設内はベランダや廊下・ホールへは自由に移動できる。運営推進会議で「身体拘束適正化委員会」を行い、主として事業所の事例について出席者と協議している。利用者の意見を尊重し、行動を強制したり抑制せずに支援するよう務めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内研修を通じ、高齢者虐待防止法等虐待に関する情報を共有している。どのような行為が虐待にあたいするか、相手の受け取り方によっても虐待と捕らえられる事もある事等職員が正しく認識していけるよう、不適切な対応とならないよう注意をしている。	/	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用されている方もおられ、弁護士や地域包括の方からお話を聞かせて頂いたりし、知識を深めている。	/	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約及び解約時に重要事項の説明・確認をさせて頂き、ご家族様の理解を得られるよう努めている。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入所時に要望を確認させて頂いている。コロナ感染症の為、面会の制限が出ている際は定期的にご家族様に電話連絡を行い、現状の様子を報告、ケアの方向性の相談をさせて頂き、面会の解除時には、お越しになられた際に、要望等をお聞きするようになっている。	新型コロナウイルス感染防止策として、年1回開催していた家族会を中止している。しかし、管理者は家族との連絡を密にし要望を聞いている。利用者との面会希望が多く寄せられているが、法人と協議して、感染状況が改善している時期には面会できるように検討している。	

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	基本、管理者の独断で、物事は決定しない。ケアについての疑問点等は、職員へ声掛けし、方向性を決定している。又、職員からの、疑問点についても、他職員の意見を聞きながら方向性を決定している。	職員からの要望は、フロア内で話し合いを行い、月1回の合同職員会議で、報告している。必要があれば、会議で検討している。職員からの意見で、休憩時間を規定通りの時間が確保できるように業務改善し、シフト交換を業務時間内に行えるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々のアイデアや工夫等をコミュニケーションの中で職員1人1人に確認し、汲み取るよう努めている。感謝の気持ち等を言葉で職員に向けて伝えている。年3回の評価シートの活用にて、個々の状況に応じての評価を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者が現場に入り、率先して手本となるように努めている。法人内の研修において、参加できるよう調整している。外部の研修については、前向きに参加を促す声掛けを行っている。引き続き研修の資料提供を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の施設内研修への参加を現在ZOOMで行っており、そこへ参加している。以前のように、対面ではない為、なかなか密な交流とはいかないが、他事業所の職員と関わった後、前向きな発言もみられる事がある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前に本人にお会いし、本人、ご家族、関係機関等からお話を聞かせて頂き、不安や要望について把握し、職員全体で本人の安心できる環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前見学から始まり、契約時にご家族・本人の置かれている状況等の理解に努め、共感する姿勢を持って関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前見学、契約時の中で話しを聞かせて頂き、他のサービス利用も含めた対応に努めている。例えば、認知症専門医への受診支援、訪問歯科の利用をして頂いたり、協力医以外の医療への受診、相談等を積極的に行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	それぞれの得意分野で教えて頂く姿勢を持ってご利用者様と接している。例えば、家事の経験を生かして、食事、おやつ準備を手伝って下さったり、掃除、洗濯物たたみを職員と一緒にして下さったり、日々職員側が助けられている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	病院受診において、可能な限り、ご家族様に協力をして頂き受診を行っている。本人から寂しさの訴えがあった場合にはご本人から電話をして頂く、手紙のやり取り等の協力を得ている。入所間もない際には毎日電話をして頂くご家族もいらっしゃる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族から了承を得ることができれば、知人の方々からの電話や手紙のやり取りをされる方もおられる。馴染みの場所については、ご家族様がお連れして下さる事が多い。現在感染症流行の為、ホームからの外出支援はほぼ行っていない。	新型コロナウイルス感染防止のために知人・家族の面会ができなくなったが、手紙のやり取りや電話での会話をできるだけ行えるよう職員は支援し、馴染みの関係の継続に務めている。	

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共有スペースを活用し、日々ご利用者様同士の交流をして頂く為、状況に応じて、席配置の調整を行い、職員が間に入らせて頂き、関わりの支援をさせて頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所された後にも電話連絡を頂き、相談に応じる事もある。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃からのコミュニケーションの中から状況の把握を心がけている。「もしご本人だったら」を念頭に置きサービスの提供を心がけている。困難時には、ご家族様に相談し、ケアの方向性について検討している。	日頃の会話から、利用者の思いや要望を把握し、「申し送りノート」に記入し、情報共有しケアプランに反映している。歌が好きな利用者には、「唄うレク」で、好きな歌を歌えるようにした。カーブが好きな利用者は、カーブの試合をテレビで観戦し、カーブグッズで部屋を飾って楽しむようにした。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日頃からのコミュニケーションや、ご家族からお聞きしたり、入所前には事前情報を頂く事で把握に努め、職員への情報の共有を図っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様との日々のコミュニケーションや観察により、本人の出来ること、できない事等を見極め情報の共有に努めている。又、職員からの検討事項が上がった際には、全員の意見を確認しながら、現状の把握に沿ったケアの提供が出来るように検討を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	職員で話しあった事を再度ご家族様に報告し、ご検討頂いている。必要に応じて、医療機関等の関係者と連携しながら現状に即した介護計画の作成に努めている。	ケアプランの毎日の実施状況は、日々の担当者がチェックし、1か月の総括をケアマネジャーが行う。その後、利用者毎の担当者は必要があれば、ケアプランの見直しをケアマネジャーに提言し、全体会議でケアプランの見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録の他、申し送りやひやりハットでの情報を共有し、現状のサービス内容の把握に努め、介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来ないという視点はあまり持たないように柔軟に対応できるように努めている。例えば突発的に外出の要望があれば、手を止め、支援にあたる。例えば家に帰りたいと要望があれば、車で近辺までうかがったりする事もある。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	日常生活での散歩、コンビニやスーパーへの買い物の支援、知人や友人との手紙のやりとりの支援、ホームでは個別レクや集団レク等の提供を行い、生活が楽しくなるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	通い慣れた病院への受診を基本としている。随時希望される医療機関への通院支援を行い、ご家族様が通院される場合においても、出来る限り管理者、看護師、介護士が足を運び、担当医との面識を作れるよう取り組んでいる。	利用者と家族の要望でかかりつけ医を決めている。利用開始時に事業所の協力医をかかりつけ医とした利用者もあり、協力医は定期的に往診して、利用者の状況を把握している。体調不良時は、看護師が各利用者のかかりつけ医に連絡を取り対応している。	

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	健康チェックの他、身体状況について変化を随時報告し、それについて看護師と話し合いを行い、ご利用者様個々に合わせ通院の支援をさせて頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には定期的に状態を確認する為に、病院へ連絡し、現状の把握と見通しについて、担当医や看護師と話し合いをするようにしている。退院時には必ず、時間を作り、情報提供を受けた内容と合わせて話しをするようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約の際に、重要事項の説明として、伝え同意を得ている。又、面会に来られた際には現状をお伝えし、ご家族に事業所として提供できる限界について等を説明しながらご理解頂けるよう取り組んでいる。	利用開始時に重度化した際の利用者・家族の要望を聞き、「看取りに関する指針」について説明を行い同意を得ている。重度化した際には、主治医が状況を家族に説明する。事業所としての医療対応状況を説明して今後の支援方針を検討し、それに沿って支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	施設内研修やマニュアルを通じ、緊急時の対応を職員個々で確認している。急変や事故発生時は振り返りを全体会議にて実施し、職員へ周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	月1回の避難訓練を実施し、発生時に備えられるよう努めている。発生する非常災害の想定をかえ、それに応じた動きができるようつとめている。地域との協力体制については、民生委員さんへの声掛けしか行えていない。	月1回、土砂災害や火災についてのテーマを決めて、避難訓練を行うが、夜間を想定した訓練としている。また、年1回、消防署の立ち合いのもと、避難訓練を実施している。隣接する保育所との協力体制ができている。災害時の食料を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人内での研修にて再確認するほか、職員同士のやり取りの中でプライバシーを損なう可能性が高い事を職員に周知し意識を高めている。居室扉が開いていた際本人の意志でない場合には閉める等注意している。トイレや入浴に関しても陰部や身体にはタオルをかける等への配慮を行っている。	「人格の尊重とプライバシーの確保」についての法人内研修は、年1回実施している。研修に参加できない職員は、研修を映像で視聴し、全職員に周知している。利用者の個人情報が他の利用者に漏れないようにし、排泄に関する言葉使いには十分に注意を払っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	行動する前には必ずご本人の意向を確認するよう取り組んでいる。答える事が難しい方には選択肢を設け、投げ掛けを行い自己決定につながるよう取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先とならないように日頃から注意を払いながらご本人のペースに合わせて支援をさせて頂いている。入浴、食事については、時間を調整し、個々に出来るだけ合わせられるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時、入浴時にはご自身で服を選んで頂いている。外出着についてもご本人へ外出を伝え、外出に合わせた服の選択を職員と一緒にしている。又、ご自身で身だしなみを整える事ができない方には支援をさせて頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	協力をして頂ける時には、準備から片付けまでご利用者様と一緒にいう事もある。食事前の体操の実施。音楽をかけながらリラックスして頂けるよう環境を整えている。食欲がない時等には本人に確認しながら個別メニューで対応する事もある。	朝食・祝日・日曜日は、職員が献立を決め食事を提供し、利用者が職員と一緒に準備を行うこともある。焼きそば・カップケーキなどを利用者と一緒に楽しむ「食レク」を実施している。食欲がない利用者は、個別メニューとして饅頭など好きな食べ物を提供している。	

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分量を確認しながら、少ない方へのアプローチをこまめに行っている。好きな飲み物を出来る限り取り入れ、提供している。食事に関しても、個別に形態を調整し、好みに合わせてパン、米飯、饅頭、洋菓子等提供する事もある。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアの実施を全利用者様に実施して頂いている。訪問歯科医と連携し、個別指導を仰ぐ事もあり、口腔内の衛生が保てるよう取り組んでいる。拒否が強い方へのアプローチは随時対応を変えながら口腔ケアが行えるように対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	基本的に全ご利用者様トイレでの排泄をして頂いている。個別に排尿間隔を把握し、訴えがあった場合には随時誘導している。	各利用者の排泄パターンをもとにトイレで排泄するように支援している。介護度が高くなれば、布パンツから利用者に応じたパットやリハビリパンツを検討して利用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分量の確認、食物繊維や乳製品の摂取。適度な運動や体操を心がけている。個別的にも歩行訓練を実施される方もおり、出来る限り自然排便があるよう努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴の声掛けをさせて頂き、その方の希望に沿えるよう努めている。同性介助を希望される利用者様には、同性介助を行っている。音楽のお好きな利用者様には、CDで音楽を聴きながら、入浴時に入浴剤の使用、入浴後の保湿剤等も行っている。季節によってゆず湯の提供等も行っている。	利用者の要望するシャンプーや保湿剤を使用している。できるだけ利用者が希望する日時に入浴できるようにし、要望があれば同性介助を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日中の活動後の状況にあわせ、ご 本人へ意志確認した後、休息して 頂く場合と、レク等の活動へ無理 が無い程度に参加して頂き、夜間 の良質な睡眠に繋がるよう取り組 んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている。	日々の状態に配慮し、内服薬の見 直し等体調に変化があった場合 には医師に相談し、調整をして頂 くこともある。変更があった場合 には必ず職員間で申し送り、情 報の共有に努めている。薬の変 更後の体調への変化への注視につ いても定期的に職員からの意見を 聞き、情報の共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。	時代劇鑑賞、歌、クイズ、ことわ ざ集、問題集、パズル、知育玩具 等の個別レクをそれぞれお好き な方に提供し、1日の中で生活が 楽しくなるように支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	現在は感染症の関係で外出の支 援はあまりできていない。要望に 応じて、近所のスーパーやコンビ ニ、郵便局、社外から出ないド ライブ等の実施は行っている。	新型コロナウイルス感染防止のた めに外出が困難となっているが、 近所の散歩や利用者が必要とし る物品を近所のコンビニまで買 い物に行っている。しかし、遠 くまでのドライブなどのレクレー ションは実施できていない。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる。	原則金銭はご家族様が管理され ている。お小遣い程度のお金を 持たれている方も数名いらっしゃる。 その方たちについては、要望時 コンビニやスーパーでの買い物、 敷地内の自販機にてジュースを 買われたりされる方もいらっしゃる。		

自己評価	外部評価	項目(2階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様へ確認させていただき、施設の電話でかけられる方もおられる。個人で携帯電話を所持されている方もおられる。知人などからかかってきた際には、お繋ぎし、話をして頂く事もある。手紙を書かれる方々は一緒にポストまでつき添い、投函するお手伝いを行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様と職員が共同で制作した貼り絵を展示したり、生け花を飾るなど季節に合わせた空間づくりを行っている。また、ベランダにはプランターで花や野菜を作ったり、同じ敷地内にある保育園の園児達が遊んでいる様子を見られるように椅子なども設置している。	季節の花を飾り、ひな人形や七夕飾りなどの飾りを展示している。また、季節を題材とした貼り絵や折り紙の作品を利用者と一緒に作成し、掲示している。施設内の換気には十分に注意を払い、時間を決めて換気している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食事以外は自由に座って頂きご利用者様の自由に使って頂いている。ソファへお連れし、ゆっくり過ごして頂いたり、ベランダにでてゆっくり景色を眺められたり、自席にてお一人でやりたいことをして頂いたり、それぞれの思いや、状態に合わせて過ごして頂けるよう努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	基本的に入所の際には、ご家族様にご本人様を使い慣れた物を持ってきて頂けるように伝えている。入所前に可能であれば自宅にうかがう事あり、家具の配置をそのままホームで配置する事もある。他者からのプレゼント好きなポスター等の掲示もして頂いたりしている。	利用開始前に自宅を訪問して、それをもとに居心地よく過ごせるように、今まで使用した家具や身の回りの物を配置している。利用者が作成した作品や着物が飾られている部屋もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご自身の所有物に制限はかけず、持ち込んで頂いている。それぞれにあった支援を心がけている。例えば、自由に物品関係も取り出せる位置に保管し出来る方はそこからティッシュやペーパータオル等の日用品から、はさみやのり、テープ等を取り出し使われる方もいらっしゃる。		

V アウトカム項目(2階ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念ある、三宝一如とグループホームの理念を朝礼で唱和し、職員間で共有している。理念に基づき、日々意識しながらご利用者様と関わらせて頂いていたが、理念の一つである、地域交流について、行事等の参加は控えている為、実施ができていない。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウィルス感染症対策の為、外出等は行っていない。地域の民生委員との情報交換は定期的に行っているが現在ご利用者様と地域の交流はほぼない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前のように運営推進会議にて、地域の方をお招きし、発信していたが、現在は、照会での対応となっている為、書面の報告しか行えておらず、詳細をしっかりと伝えてできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	推進会議を行う際、事前にご意見を頂き、それについて話し合いを行っている。身体拘束やコロナウィルス感染症の状況についてご意見を頂く事が多い。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	サービスの提供において不明瞭な事など市に連絡し、相談を行っている。コロナ関連の事について等も不明慮な事の確認を随時行っている。		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所として身体拘束を行わない方針のもとケアに努めている。各居室の窓からベランダに自由に入出入りして頂いたり、ホールや廊下からのベランダへの出入りも自由にして頂いている。施設内研修や身体拘束適正化検討委員会にて事例等を検討し、身体拘束に関する情報を職員で共有している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内研修を通じ、高齢者虐待防止法等虐待に関する情報を共有している。どのような行為が虐待にあたるか、相手の受け取り方によっても虐待と捕らえられる事もある事等職員が正しく認識していけるよう、不適切な対応とならないよう注意をしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用されている方もおられ、弁護士や地域包括の方からお話しを聞かせて頂いたりし、知識を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約及び解約時に重要事項の説明・確認をさせて頂き、ご家族様の理解を得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入所時に要望を確認させて頂いている。コロナ感染症の為、面会の制限が出ている際は定期的にご家族様に電話連絡を行い、現状の様子を報告、ケアの方向性の相談をさせて頂き、面会の解除時には、お越しになられた際に、要望等をお聞きするようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	基本、管理者の独断で、物事は決定しない。ケアについての疑問点等は、職員へ声掛けし、方向性を決定している。又、職員からの、疑問点についても、他職員の意見を聞きながら方向性を決定している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々のアイデアや工夫等をコミュニケーションの中で職員1人1人に確認し、汲み取るよう努めている。感謝の気持ち等を言葉で職員に向けて伝えている。年3回の評価シートの活用にて、個々の状況に応じての評価を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者が現場に入り、率先して手本となるように努めている。法人内の研修において、参加できるよう調整している。外部の研修については、前向きに参加を促す声掛けを行っている。引き続き研修の資料提供を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の施設内研修への参加を現在ZOOMで行っており、そこへ参加している。以前のように、対面ではない為、なかなか密な交流とはいかないが、他事業所の職員と関わった後、前向きな発言もみられる事がある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用前に本人にお会いし、本人、ご家族、関係機関等からお話を聞かせて頂き、不安や要望について把握し、職員全体で本人の安心できる環境作りに努めている。日常生活の中で、関りを持ちながら、要望等を確認し、実践していく事でご利用者との関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前見学から始まり、契約時にご家族・本人の置かれている状況等の理解に努め、共感する姿勢を持って関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前見学、契約時の中で話しを聞かせて頂き、他のサービス利用も含めた対応に努めている。例えば、認知症専門医への受診支援、訪問歯科の利用をして頂いたり、協力医以外の医療への受診、相談等を積極的に行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	それぞれの得意分野で教えて頂く姿勢を持ってご利用者様と接している。例えば、家事の経験を生かして、食事、おやつ準備を手伝って下さったり、掃除、洗濯物たたみを職員と一緒にして下さったり、日々職員側が助けられている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	病院受診において、可能な限り、ご家族様に協力をして頂き受診を行っている。本人から寂しさの訴えがあった場合にはご本人から電話をして頂く、手紙のやり取り等の協力を得ている。入所間もない際には毎日電話をして頂くご家族もいらっしゃる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族から了承を得ることができれば、知人の方々からの電話や手紙のやり取りをされる方もいらっしゃる。馴染みの場所については、ご家族様がお連れして下さる事が多い。現在感染症流行の為、ホームからの外出支援はほぼ行っていない。		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共有スペースを活用し、日々ご利用者様同士の交流をして頂く為、状況に応じて、席配置の調整を行い、職員が間に入らせて頂き、関わりの支援をさせて頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所された後にも電話連絡を頂き、相談に応じる事もある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃からのコミュニケーションの中から状況の把握を心がけている。「もしご本人だったら」を念頭に置きサービスの提供を心がけている。困難時には、ご家族様に相談し、ケアの方向性について検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日頃からのコミュニケーションや、ご家族からお聞きしたり、入所前には事前情報を頂く事で把握に努め、職員への情報の共有を図っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様との日々のコミュニケーションや観察により、本人の出来ること、できない事等を見極め情報の共有に努めている。又、職員からの検討事項が上がった際には、その時の勤務帯で話し合いを行い、後日他職員の意見を確認し、現状の把握に沿ったケアの提供が出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員で話しあった事を再度管理者から家族様に報告してもらい、ご検討頂いている。必要に応じて、福祉用具業者や、医療機関等の関係者と連携しながら現状に即した介護計画の作成に努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録の他、申し送りやひやりハットでの情報を共有し、現状のサービス内容の把握に努め、介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>気持ちが落ち着かれない時に、職員と一緒に、自販機に行き、一緒にコーヒーを買って飲んだり、コンビニで好きな物を買って食べたり、随時状況に合わせて対応できるようにしている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>日常生活での散歩、コンビニやスーパーへの買い物の支援、知人や友人との手紙のやりとりの支援、ホームでは個別レクや集団レク等の提供を行い、生活が楽しくなるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>通い慣れた病院への受診を基本としている。随時希望される医療機関への通院支援を行い、ご家族様が通院される場合においても、出来る限り管理者、看護師、介護士が足を運び、担当医との面識を作れるよう取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師が現場に入っている為、日常生活の医療面の他、介護面についても協力しながら支援に当たっている。健康チェックの他、身体状況について変化等を共有し、看護師と話し合いを行い、ご利用者様個々に合わせ通院の支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを病院へ渡し情報提供に努めている。又、定期的に状態を確認する為に、看護師と管理者が協力し、現状の把握と、注意事項等を担当医や看護師から情報提供を受けている。退院時には管理者が必ず、情報提供を受けた内容と、現場からの意見も合わせ、話しをするようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約の際に、重要事項の説明として、伝え同意を得ている。又、面会に来られた際には現状をお伝えし、ご家族に事業所として提供できる限界について等を説明しながらご理解頂けるよう取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	施設内研修やマニュアルを通じ、緊急時の対応を職員個々で確認している。AEDの使い方等、看護師から手順の説明を行い、急変時に備えての訓練を行う事で職員へ周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	月1回の避難訓練を実施し、発生時に備えられるよう努めている。ユニット間の連携、特に、こちらのユニットは階下のユニットへの応援をしなければならないので、発生する非常災害によって、それに応じた動きができるようつとめている。		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人内での研修にて再確認のほか、職員同士のやり取りの中でプライバシーを損なう可能性が高い事を職員に周知し意識を高めている。居室扉が開いていた際本人の意志でない場合には閉める等注意している。入浴時にはタオルをかける等の配慮を行っている。大声で、利用者の事を話さない。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	行動する前には必ずご本人の意向を確認するよう取り組んでいる。答える事が難しい方には選択肢を設け、投げ掛けを行い自己決定につながるよう取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先とならないように日頃から注意を払いながらご本人のペースに合わせて支援をさせて頂いている。入浴、食事については、時間を調整し、個々に出来るだけ合わせれるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自身でできる方が大半である為、ご本人におまかせしている。行為が必要となる際にはご自身で服選び等準備をして頂いている。外出着についてもご本人へ外出を伝え、外出に合わせた服の選択を職員と一緒にしている。ご自身で身だしなみを整える事ができない方には支援をさせて頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	協力をして頂ける時には、準備から片付けまでご利用者様と一緒にいる事もある。食事前の体操の実施。音楽をかけながらリラックスして頂けるよう環境を整えている。食欲がない時等には本人に確認しながら個別メニューで対応する事もある。		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分量を確認しながら、少ない方へのアプローチをこまめに行っている。好きな飲み物を出来る限り取り入れ、提供している。食事に関しても、個別に形態を調整し、好みに合わせてパン、米飯、饅頭、洋菓子等提供する事もある。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアの実施を全利用者様に実施して頂いている。訪問歯科医と連携し、個別指導を仰ぐ事もあり、口腔内の衛生が保てるよう取り組んでいる。個別に洗浄剤や、洗口液を購入し、本人の希望や状態に応じたケアを行っている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>基本的に全ご利用者様トイレでの排泄をして頂いている。個別に排尿間隔を把握し、訴えがあった場合には随時誘導している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量の確認、食物繊維や乳製品の摂取。適度な運動や体操を心がけている。腹部マッサージの実施を行う等できる限り自力排便を促せるように取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の声掛けをさせて頂き、その方の希望に沿えるよう努めている。同性介助を希望される利用者様には、同性介助を行っている。音楽のお好きな利用者様には、CDで音楽を聴きながら、入浴時に入浴剤の使用、入浴後の保湿剤等も行っている。季節によってゆず湯の提供等も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日中の活動後の状況にあわせ、ご 本人へ意志確認した後、休息して 頂く場合と、レク等の活動へ無理 が無い程度に参加して頂き、夜間 の良質な睡眠に繋がるよう取り組 んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている。	日々の状態に配慮し、内服薬の見 直し等体調に変化があった場合 には看護師と連携し医師に相談 しながら、調整をして頂くことも ある。変更があった場合には必ず 職員間で申し送り、情報の共有に 努め変更後の体調への変化につ いても定期的に職員からの意見を きき、情報の共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている。	時代劇鑑賞、歌、クイズ、ことわざ 集、問題集、囲碁、将棋、カラオ ケ等の個別レクをそれぞれお好き な方に提供し、1日の中で生活が 楽しくなるように支援を行っている 。又、掃除洗濯等を積極的に行っ て下さる方へ、お願いする等、一 人一人にできる限り合わせた生 活が送れるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援 に努めている。また、普段は行け ないような場所でも、本人の希望 を把握し、家族や地域の人々と協 力しながら出かけられるように支 援している。	現在は感染症の関係で外出の支援 はあまりできていない。要望に応 じて、近所のスーパーやコンビニ 、郵便局、車外へ出ないドライブ 等の実施は行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金の 所持したり使えるように支援して いる。	原則金銭はご家族様が管理されて いる。お小遣い程度のお金を持た れている方も数名いらっしゃる。 その方たちについては、要望時 コンビニやスーパーでの買い物、 敷地内の自販機にてジュースを 買われたりされる方もいらっしゃる。		

自己評価	外部評価	項目(3階ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	施設の電話でかけられる方もおられる。かかってくる方もおられる。個人で携帯電話を所持されている方もおられる。随時本人へお繋ぎし、話をして頂くようにしている。手紙を書かれる方々は一緒にポストまでつき添い、投函するお手伝いを行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様と職員が共同で制作した貼り絵を展示したり、生け花を飾るなど季節に合わせた空間づくりを行っている。また、ベランダには花や野菜を作ったり、同じ敷地内にある保育園の園児達が遊んでいる様子を見れるように、天気の良い日に外気浴が行えるように椅子を設置している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	自席を認識されている為、基本はそこがその方の共有空間での居場所となっている。ソファに座られ、ゆっくり過ごされたり、ベランダにでてゆっくり景色を眺められたり、それぞれの思いや、状態に合わせて過ごして頂けるよう努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	基本的に入所の際には、ご家族様にご本人様を使い慣れた物を持ってきて頂けるように伝えている。入所前に可能であれば自宅にうかがう事あり、家具の配置をそのままホームで配置する事もある。他者からのプレゼント好きなポスター等の掲示もして頂いたり、入所後本人様が希望される物品等あれば、ご家族様に持参して頂き、居室環境の充実を図っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご自身の所有物に制限はかけず、持ち込んで頂いている。極力手は出さず、見守る事から状況を見極め、それぞれにあった支援を心がけている。自立されている方が多いので、物品などはご自身で取りだされ管理される方が多い		

V アウトカム項目(3階ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム光明牛田新町

作成日 令和4年9月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナ感染症により馴染みのある場所への外出支援が行えていない。	ドライブ等の機会を作り、馴染みのある場所への外出の支援が行える。	2週間に1回は外出の機会を設ける。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。